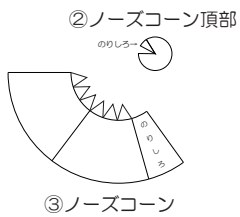
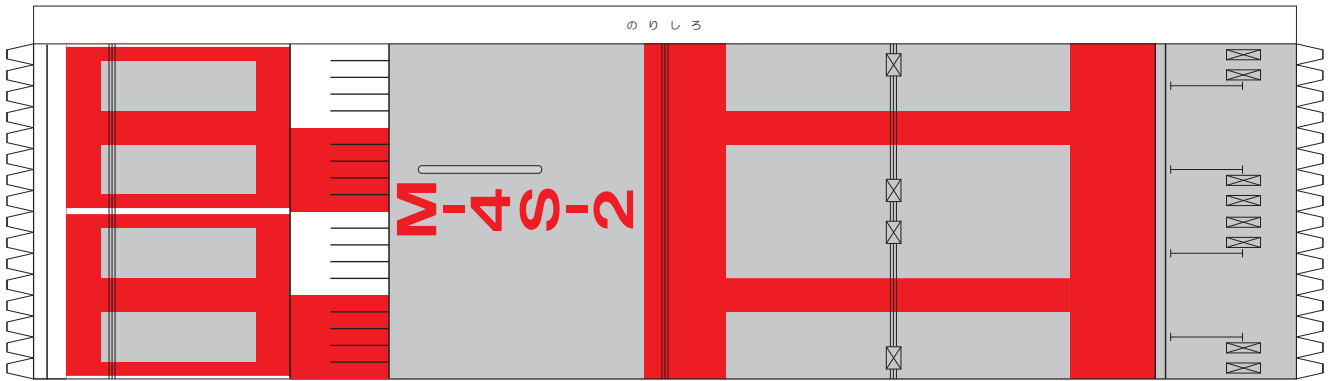
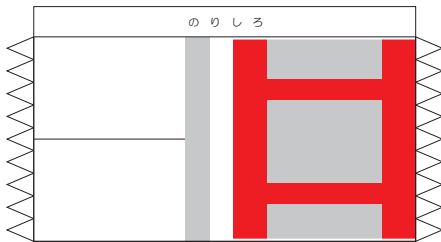


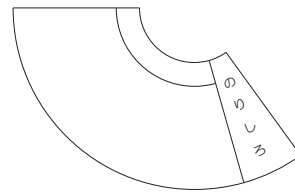
①第1段・第2段本体



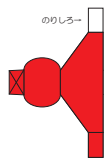
④第3段・第4段・フェアリング



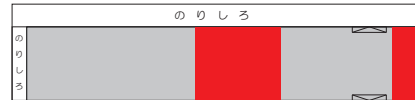
⑤第2段-第3段継ぎ手



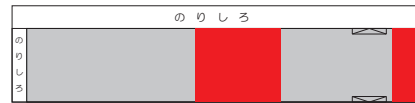
⑥ブースター頂部



⑦ブースター



⑦ブースター



⑦ブースター



⑦ブースター



⑦ブースター



⑦ブースター



⑦ブースター



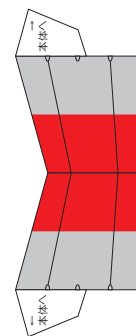
⑦ブースター



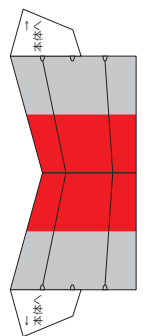
⑦ブースター



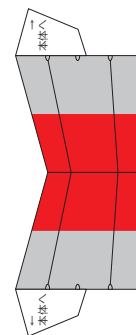
⑧尾翼



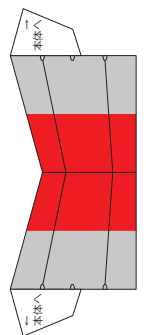
⑧尾翼



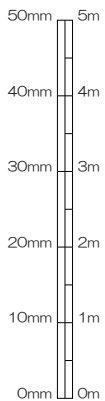
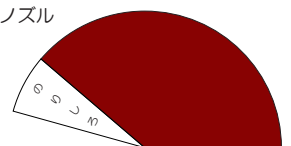
⑧尾翼



⑧尾翼



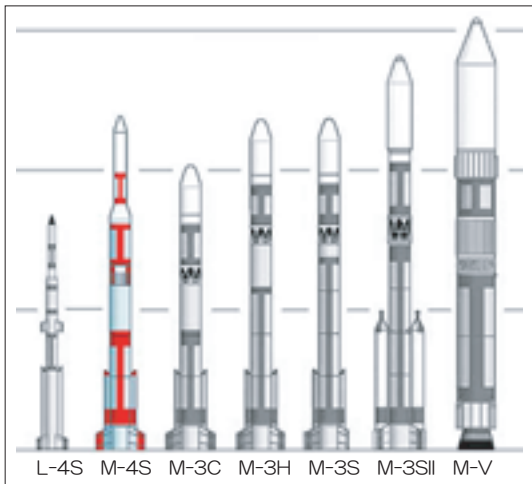
⑨ノズル



M-4S ペーパークラフト

ミュウロケットは、現在のJAXA宇宙科学研究本部の前身に当たる、東大宇宙航空研究所（のち文部省宇宙科学研究所）の開発したロケットです。

このペーパークラフトで取り上げているM-4Sはミュウシリーズの第1世代で、日本初の人工衛星を打ち上げたL-4S型同様、無誘導の重力ターン方式での衛星打ち上げでした。初号機のM-4S-1は不具合が発生しましたが、2号機以降は安定した性能を発揮しました。



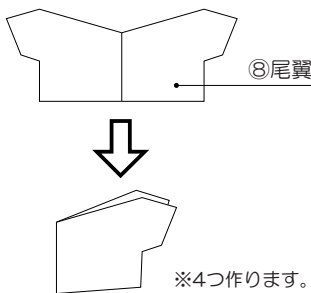
宇宙航空研究開発機構（JAXA）提供の図を一部改変

	M-4S
全長	23.6m
直径	1.41m
全重量	43.6t
打上げ能力	180kg
打上げた衛星	MS-F1※ たんせい しんせい でんば
運用年	1970~72

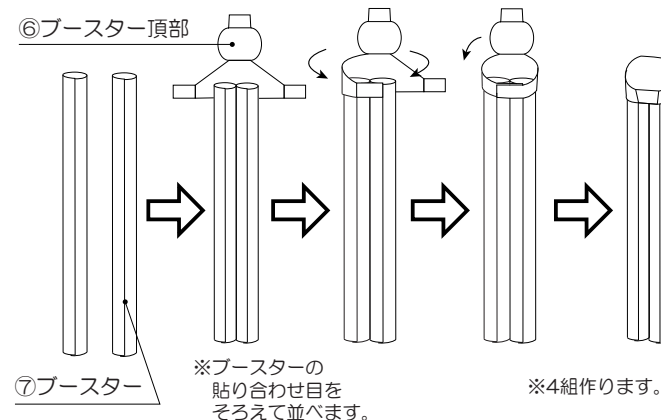
※M-4S-1のMS-F1は軌道投入失敗
JAXAホームページおよび「スペース・ガイド2003」（丸善）掲載のデータより作成

組立説明図

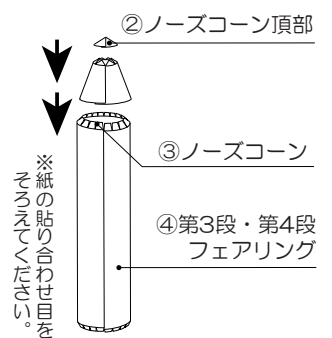
1. 尾翼の組み立て



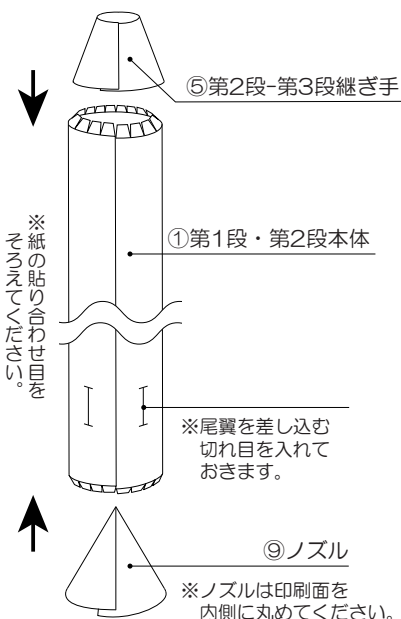
2. ブースターの組み立て



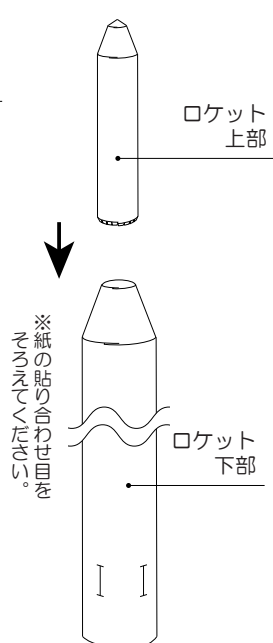
3. ロケット上部の組み立て



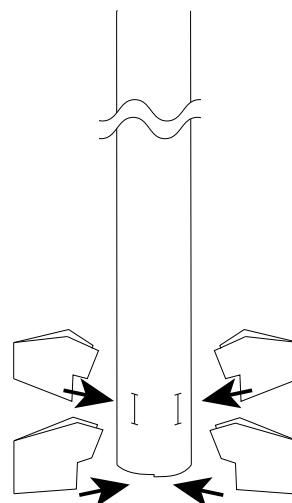
4. ロケット下部の組み立て



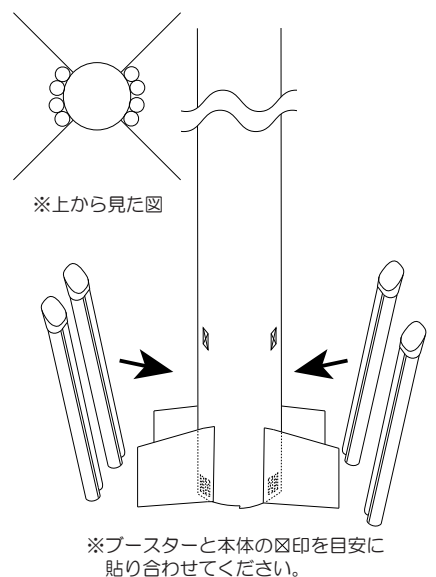
5. ロケット本体の組み立て



6. 尾翼の取り付け



7. ブースターの取り付け



※ノズルは本体の底に
ぴったり押し込みます。